

令和5年7月9日から10日にかけての梅雨前線に伴う 出水概要【速報版】（第2報）

九州地方整備局 武雄河川事務所
令和5年7月19日

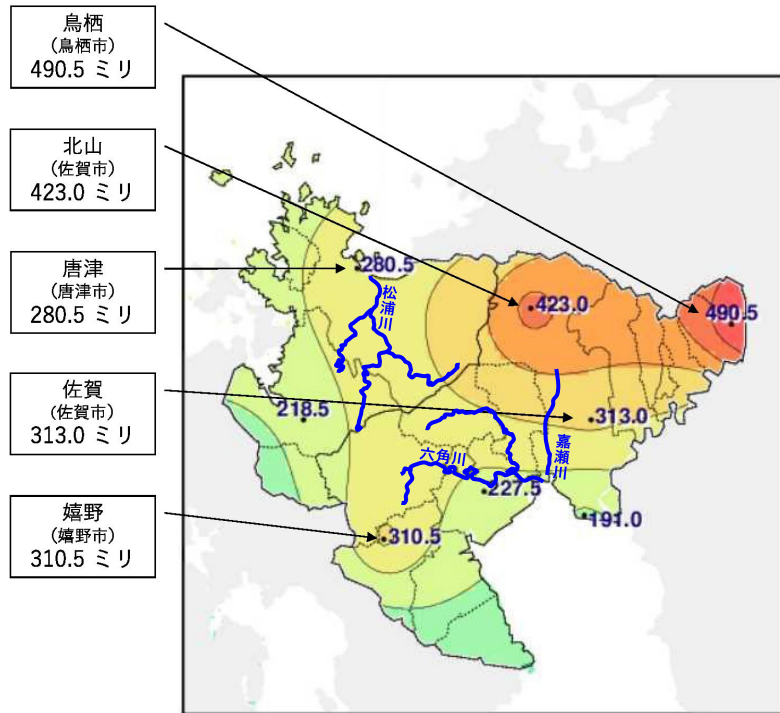
目 次

1. 気象・降雨の概要	2
2. 河川の水位の状況	3
3. ダムの洪水調節の状況	4
4. 嘉瀬川水系の降雨・水位	5
5. 六角川水系の降雨・水位	9
6. 松浦川水系の降雨・水位・氾濫発生状況	13
7. 嘉瀬川における河川改修事業の効果	20
8. 牛津川における河川改修事業の効果	22
9. 巖木ダムの洪水調節による効果	24

1. 気象・降雨の概要

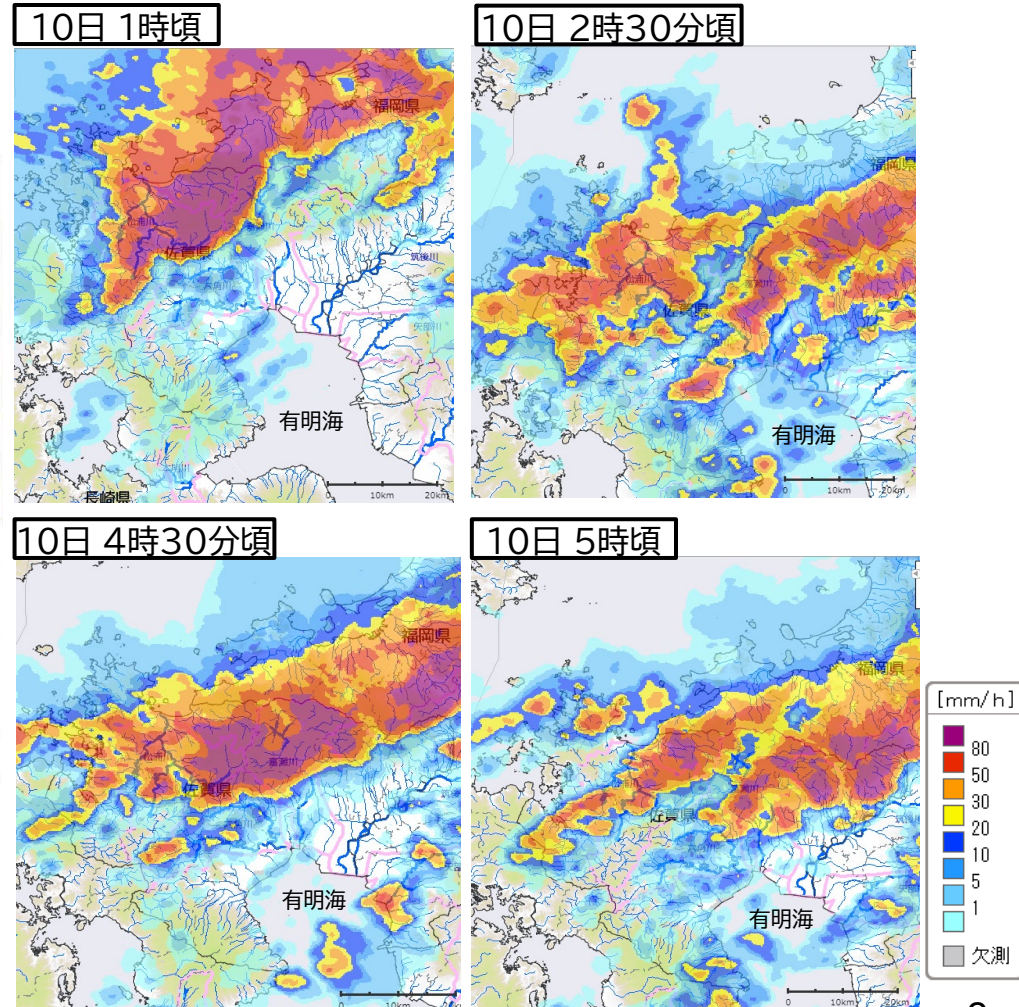
○7月9日(日)から7月10日(月)、梅雨前線の影響により、何度も線状降水帯が九州北部に発生し、豪雨をもたらした。
気象庁は佐賀県に「顕著な大雨に関する気象情報」を2回発表(7月10日4時39分、8時10分)。

7/7 ~ 7/10 アメダス総降水量の分布図



(佐賀地方気象台の災害時気象資料より引用)

レーダ雨量(7/10)



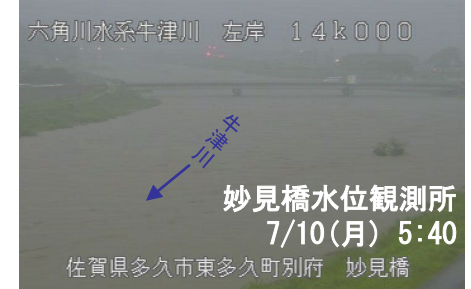
(統一河川情報システムにより作成した図を加工)

2. 河川の水位の状況

○武雄河川事務所管内一級水系のうち、1水系で氾濫が発生(レベル5)し、1観測所では、観測史上1位の水位を記録

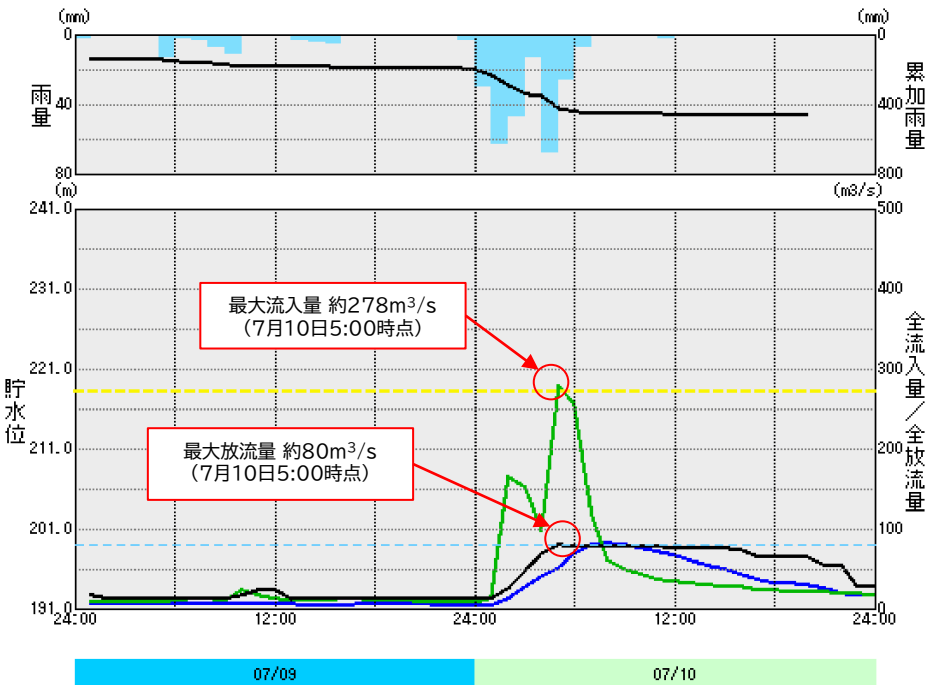
1. 河川出水状況(国管理)

水系	河川	水位観測所	今回ピーク水位 (m)		観測史上最高 (m)	
嘉瀬川	嘉瀬川	川上	6.59 観測史上1位	レベル4	7/10(月) 5:30	6.01 H22 7/14 8:00
六角川	うしづ 牛津川	みょうけんばし 妙見橋	4.83	レベル4	7/10(月) 5:40	7.02 R1 8/28 5:40
松浦川	とくすえ 徳須恵川	とくす えばし 徳須恵橋	5.81	氾濫発生	7/10(月) 6:30	6.62 S47 7/12
	きゅうらぎ 厳木川	なかしまばし 中島橋	2.67	レベル4	7/10(月) 4:40	4.05 S57 7/24 8:00



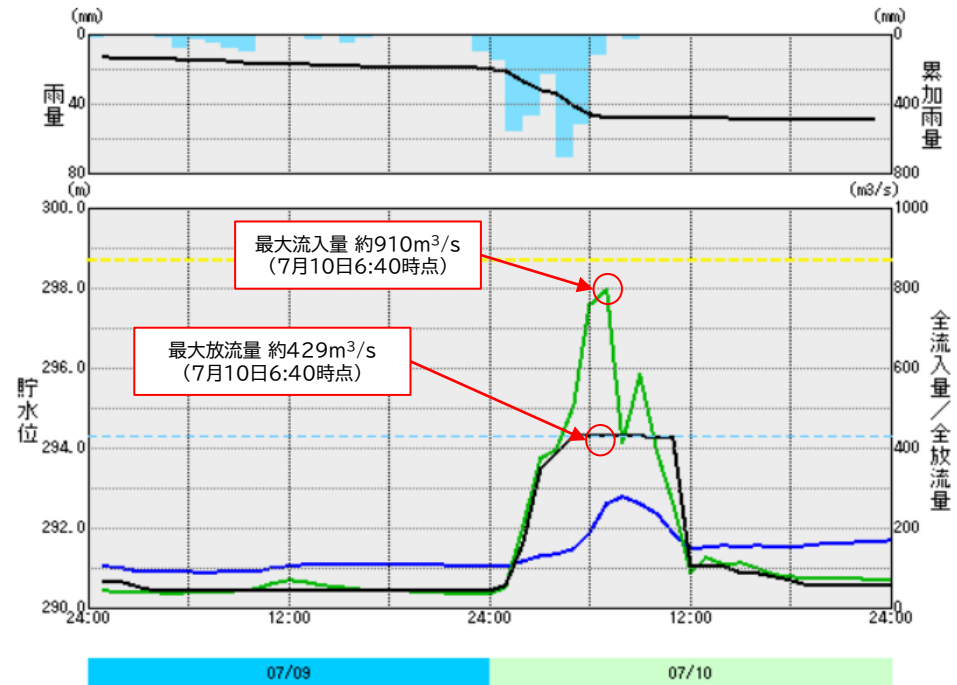
3. ダムの洪水調節の状況（巖木ダム、嘉瀬川ダム）

巖木ダム(松浦川水系)



洪水時にはダムに流れ込む水量の一部を貯め、
ピーク時に下流へ流す水量を約7割低減
(放流量約198m³/sカット)

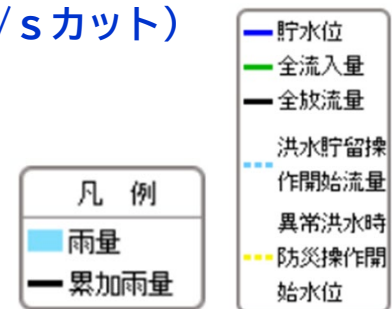
嘉瀬川ダム(嘉瀬川水系)



洪水時にはダムに流れ込む水量の一部を貯め、
ピーク時に下流へ流す水量を約5割低減
(放流量約481m³/sカット)

※雨量はダム上流の流域平均雨量。

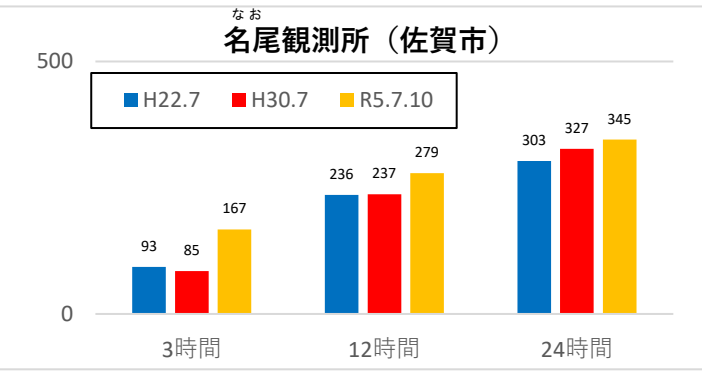
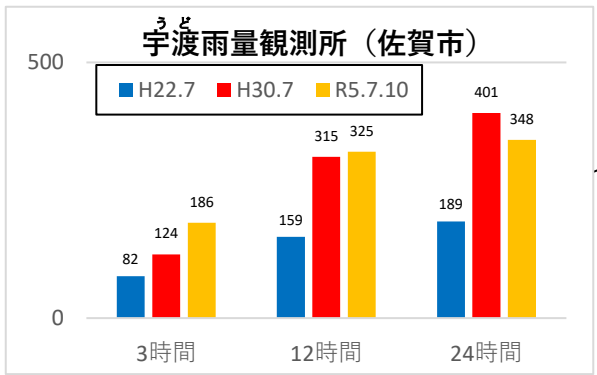
※本資料の数値は速報値であるため今後変更の可能性があります。



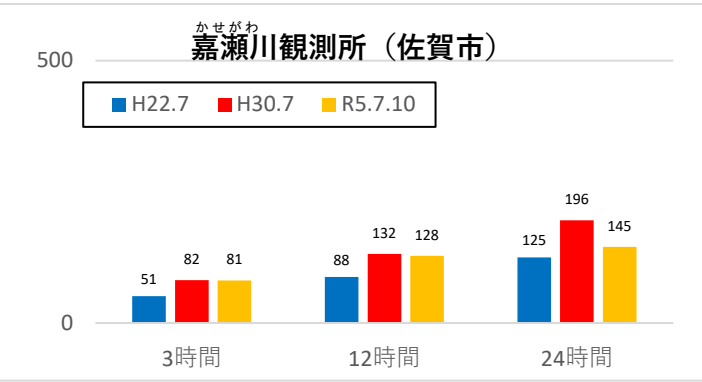
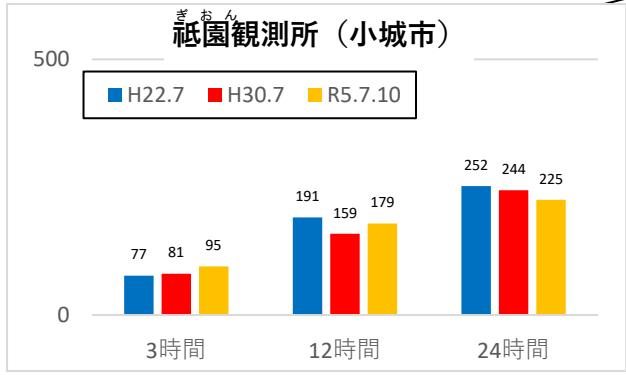
4. 嘉瀬川水系の降雨・水位

4. 降雨の概要（嘉瀬川流域）

○嘉瀬川流域では、名尾雨量観測所や宇渡雨量観測所（佐賀市）において、3時間雨量、12時間雨量が近年の主要な洪水を上回る降雨量を記録した。

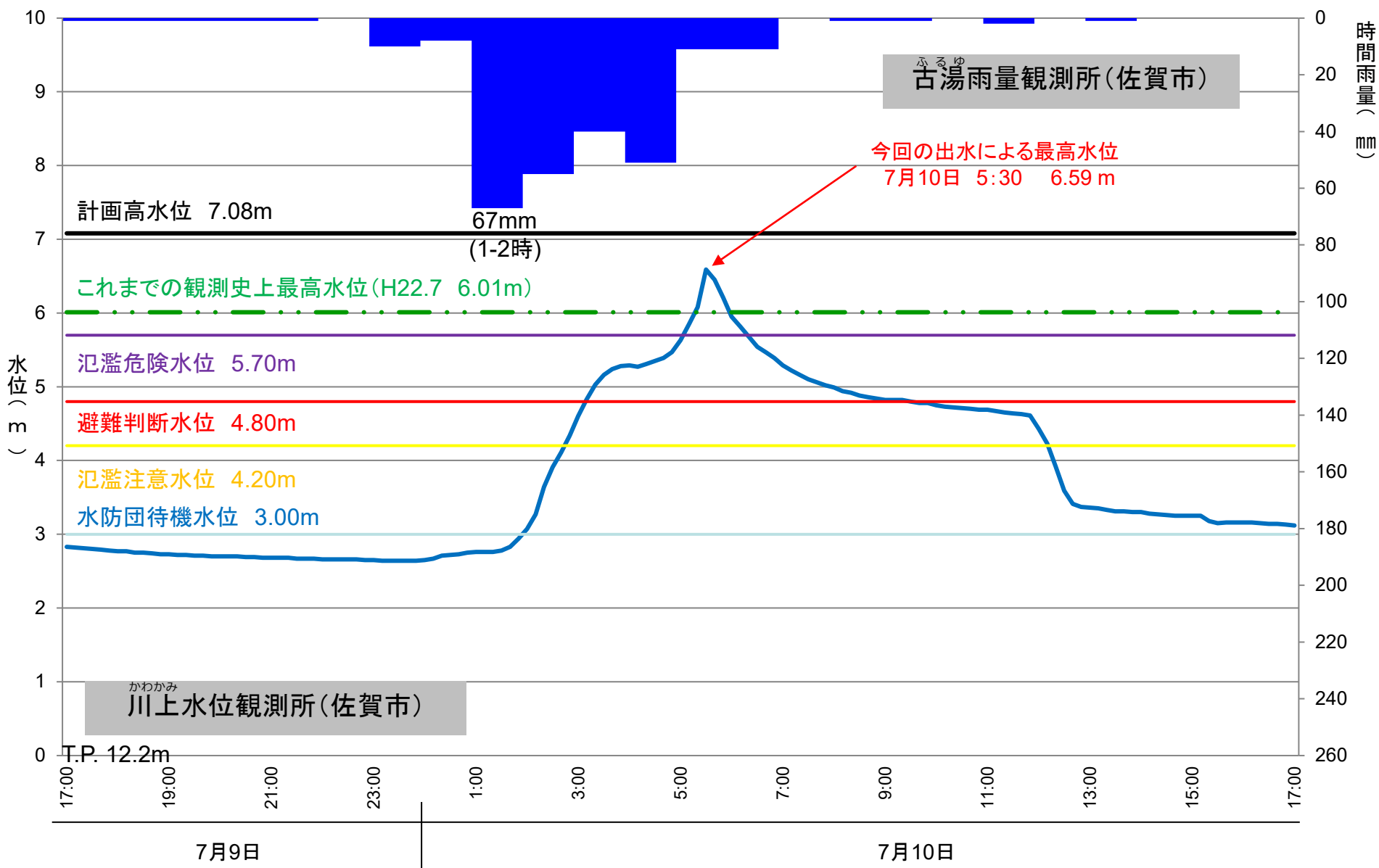


▲ : 水位観測所
● : 雨量観測所



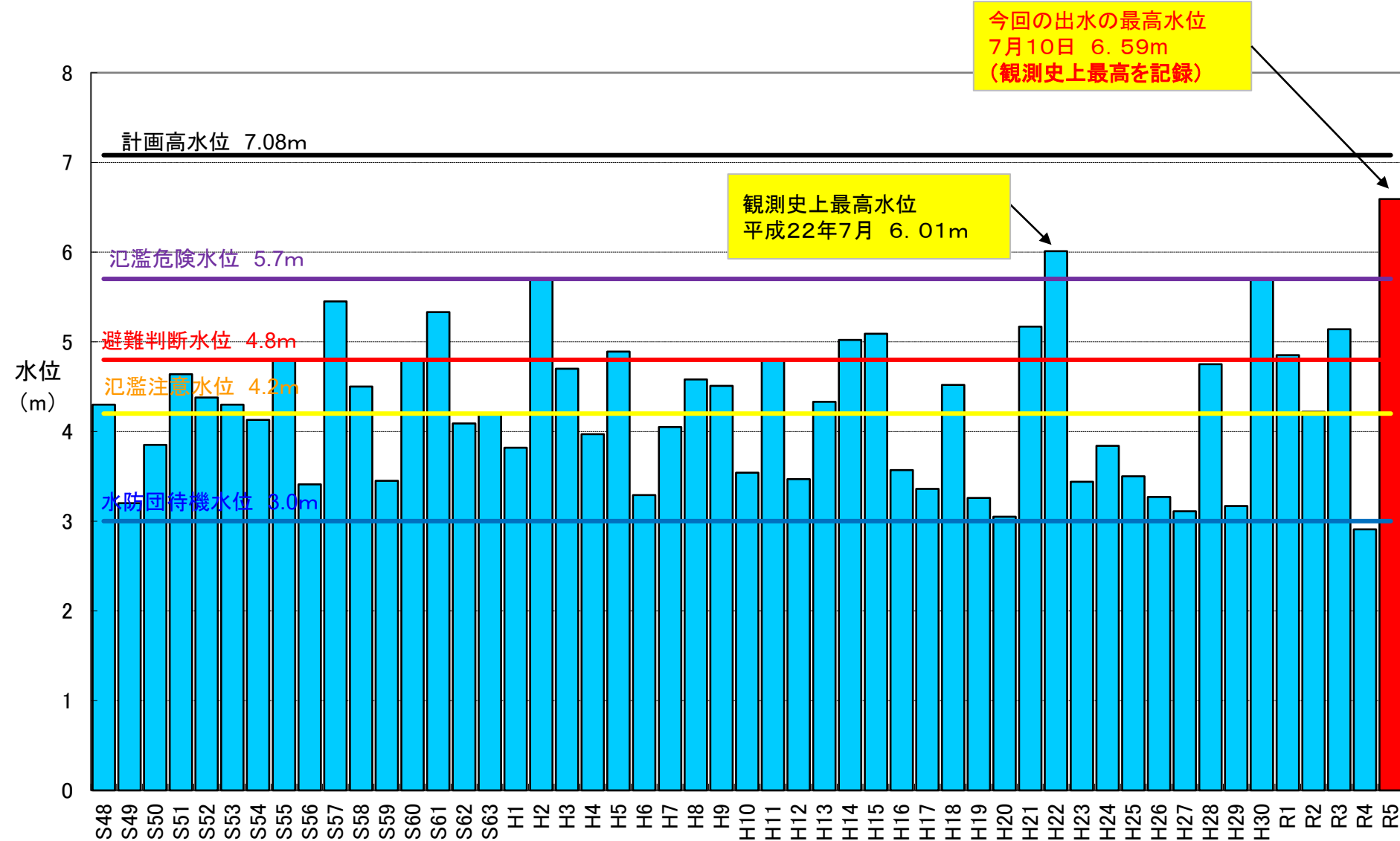
※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります
※グラフの時間雨量は、正時の間に降った雨量を便宜的に当該時間に表示したものです

4. 水位の概要 (川上水位観測所：嘉瀬川水系嘉瀬川)



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります
※グラフの時間雨量は、正時の間に降った雨量を便宜的に当該時間に表示したものです

嘉瀬川水系嘉瀬川(川上水位観測所)の年最高水位比較図



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります

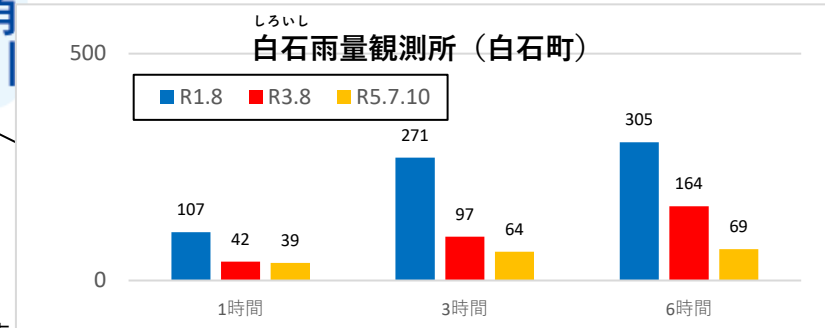
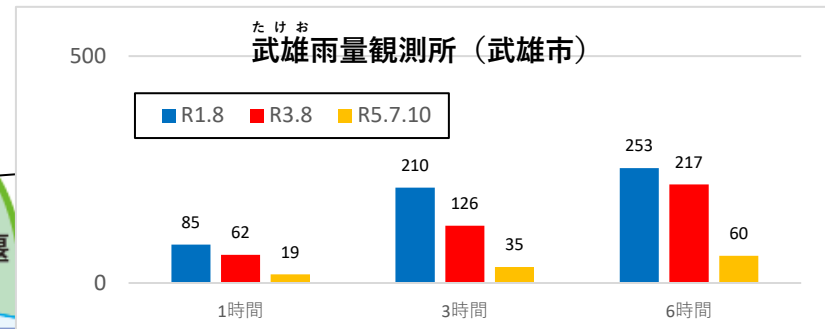
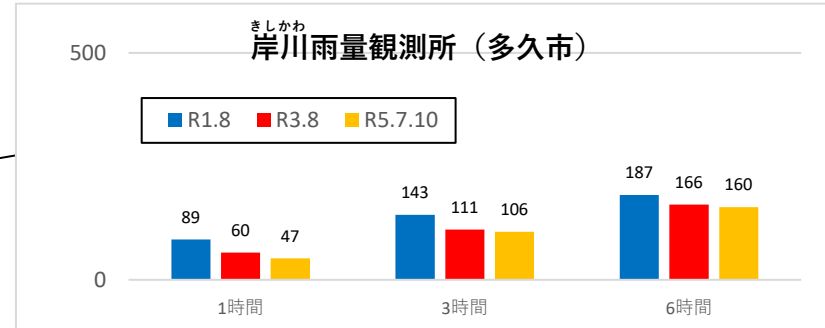
5. 六角川水系の降雨・水位

5. 降雨の概要 (六角川流域)

○六角川流域では、岸川雨量観測所（多久市）において、令和3年8月洪水※に匹敵する降雨量を記録した。

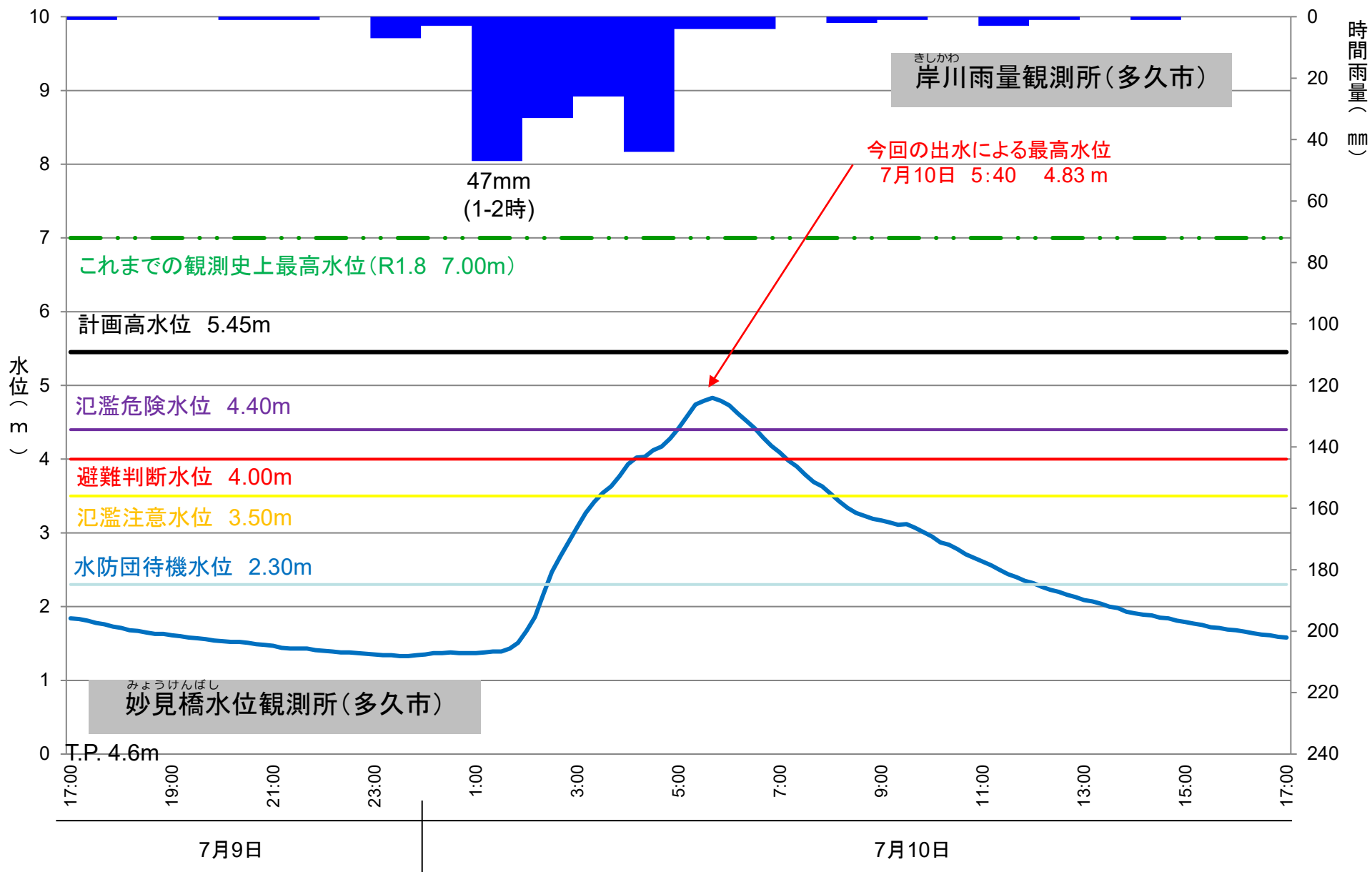
※六角川流域で約3,300戸の浸水被害が発生

▲：水位観測所
●：雨量観測所



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります
※グラフの時間雨量は、正時の間に降った雨量を便宜的に当該時間に表示したものです

5. 水位の概要 (妙見橋水位観測所：六角川水系牛津川)

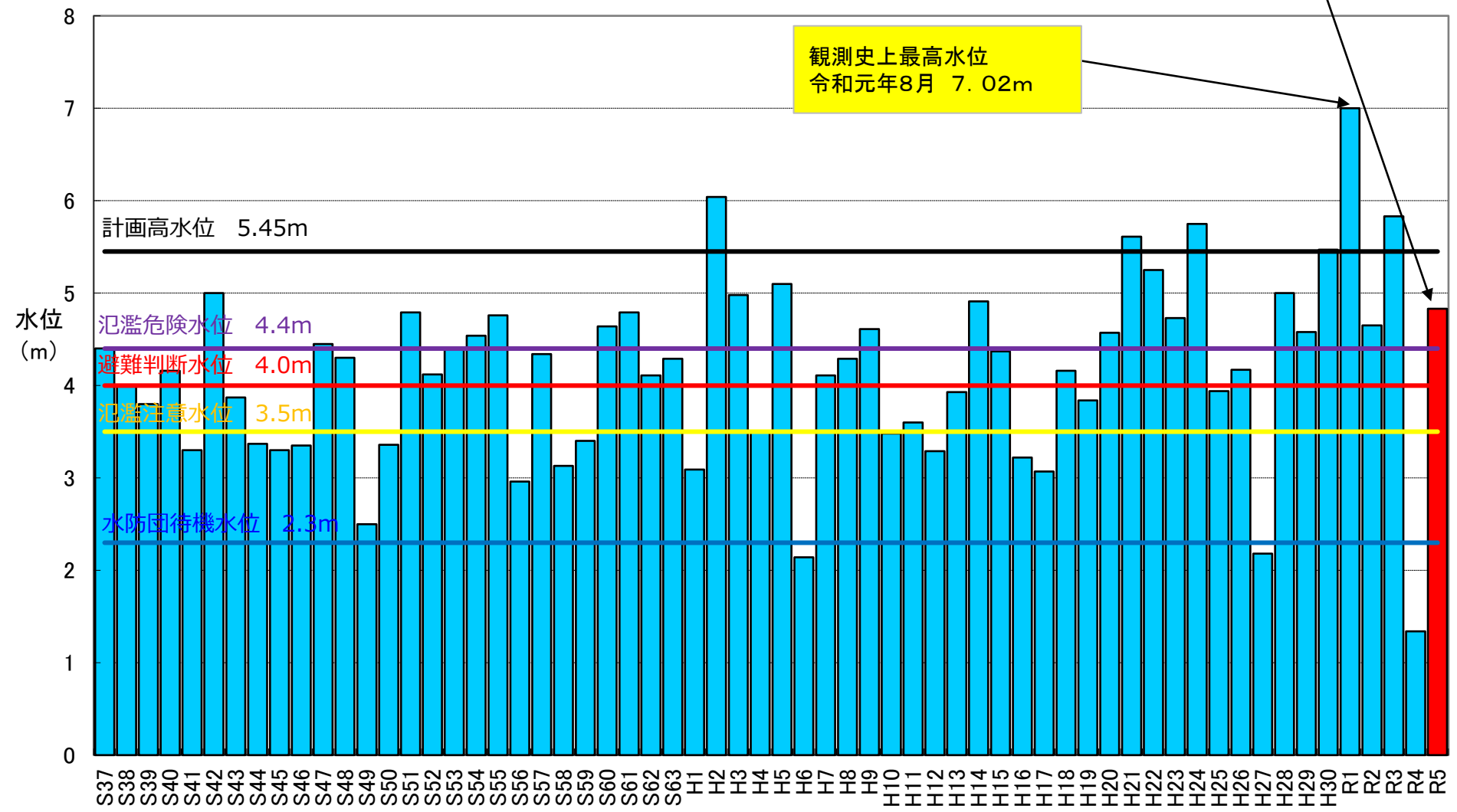


※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります
 ※グラフの時間雨量は、正時の間に降った雨量を便宜的に当該時間に表示したものです

六角川水系牛津川(妙見橋水位観測所)の年最高水位比較図

今回の出水の最高水位
7月10日 4.83m
(氾濫危険水位を超過)

観測史上最高水位
令和元年8月 7.02m



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります

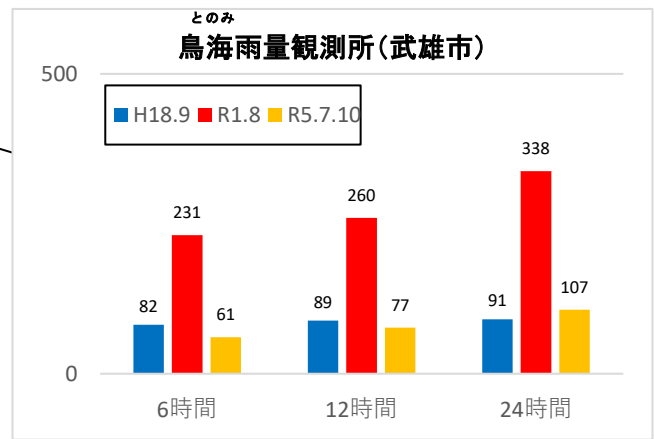
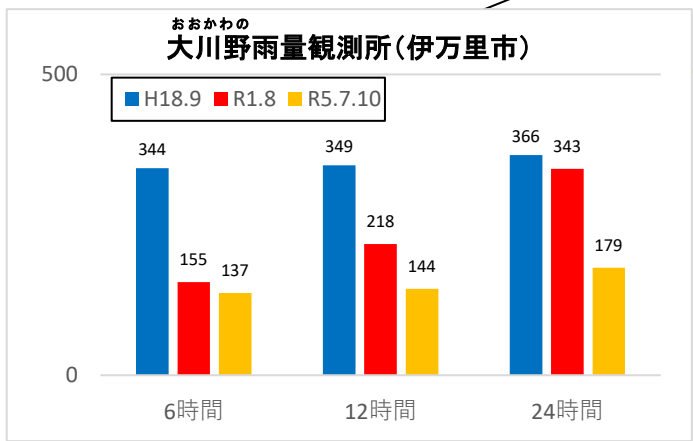
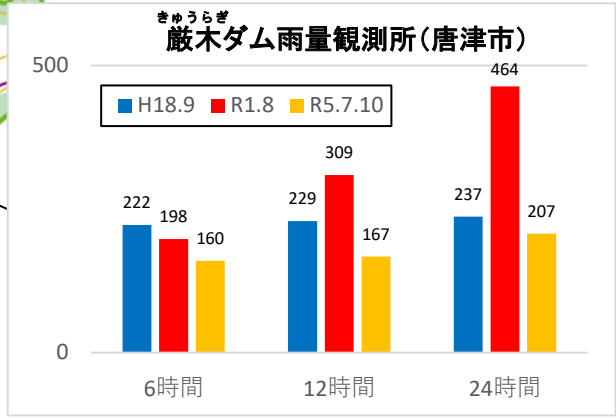
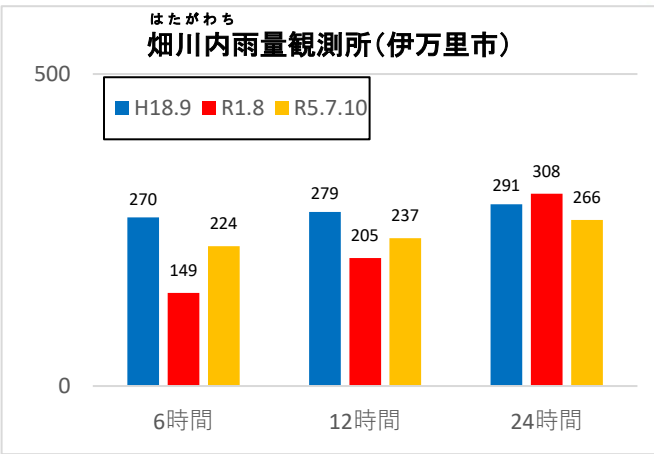
6. 松浦川水系の 降雨・水位・氾濫発生状況

6. 降雨の概要 (松浦川流域)

○松浦川流域では、畑川内雨量観測所（伊万里市）において、平成18年9月洪水※に匹敵する降雨量を記録した。
 ※唐津市、伊万里市で93戸の浸水被害が発生

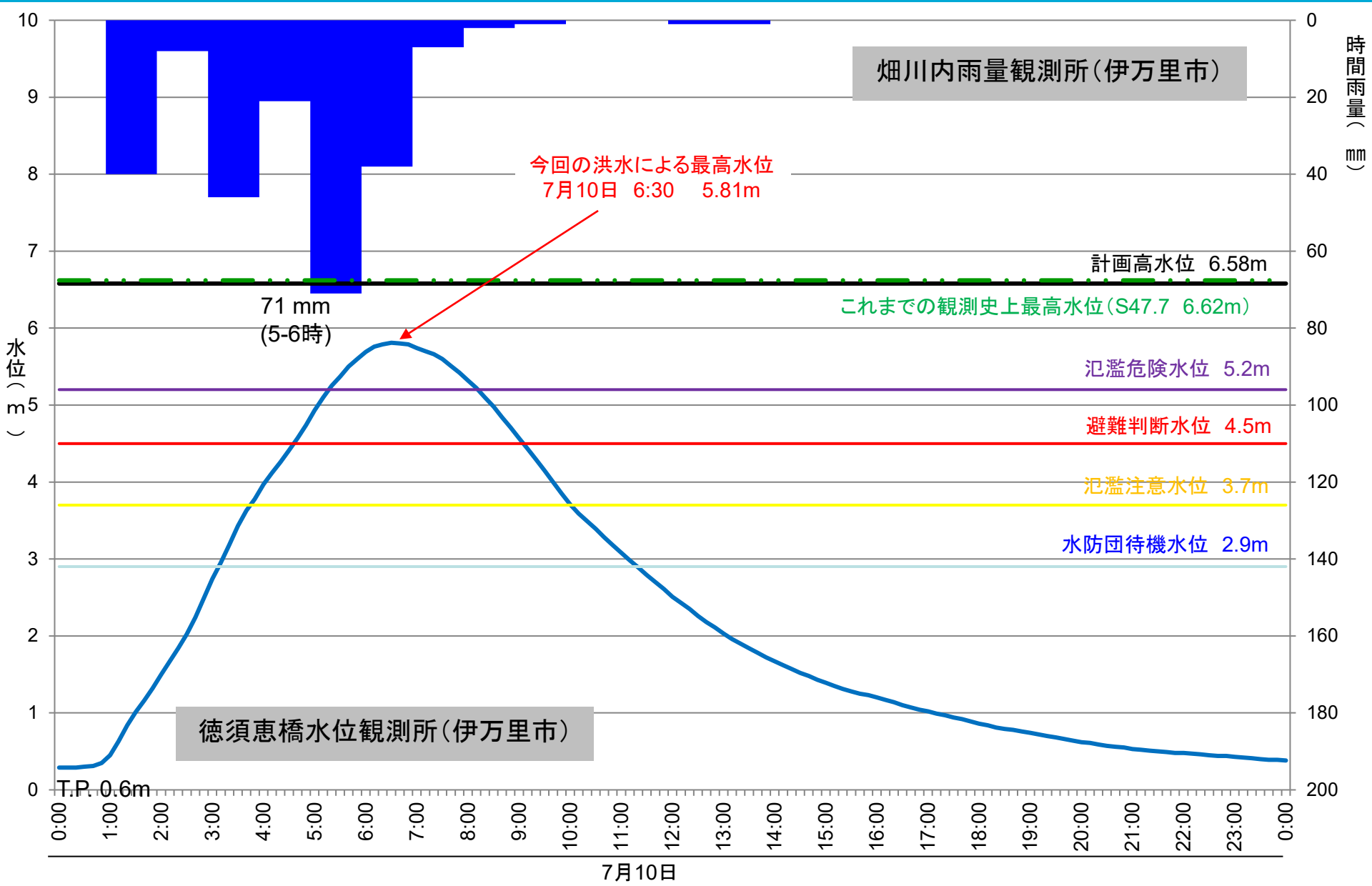


▲ : 水位観測所
 ● : 雨量観測所



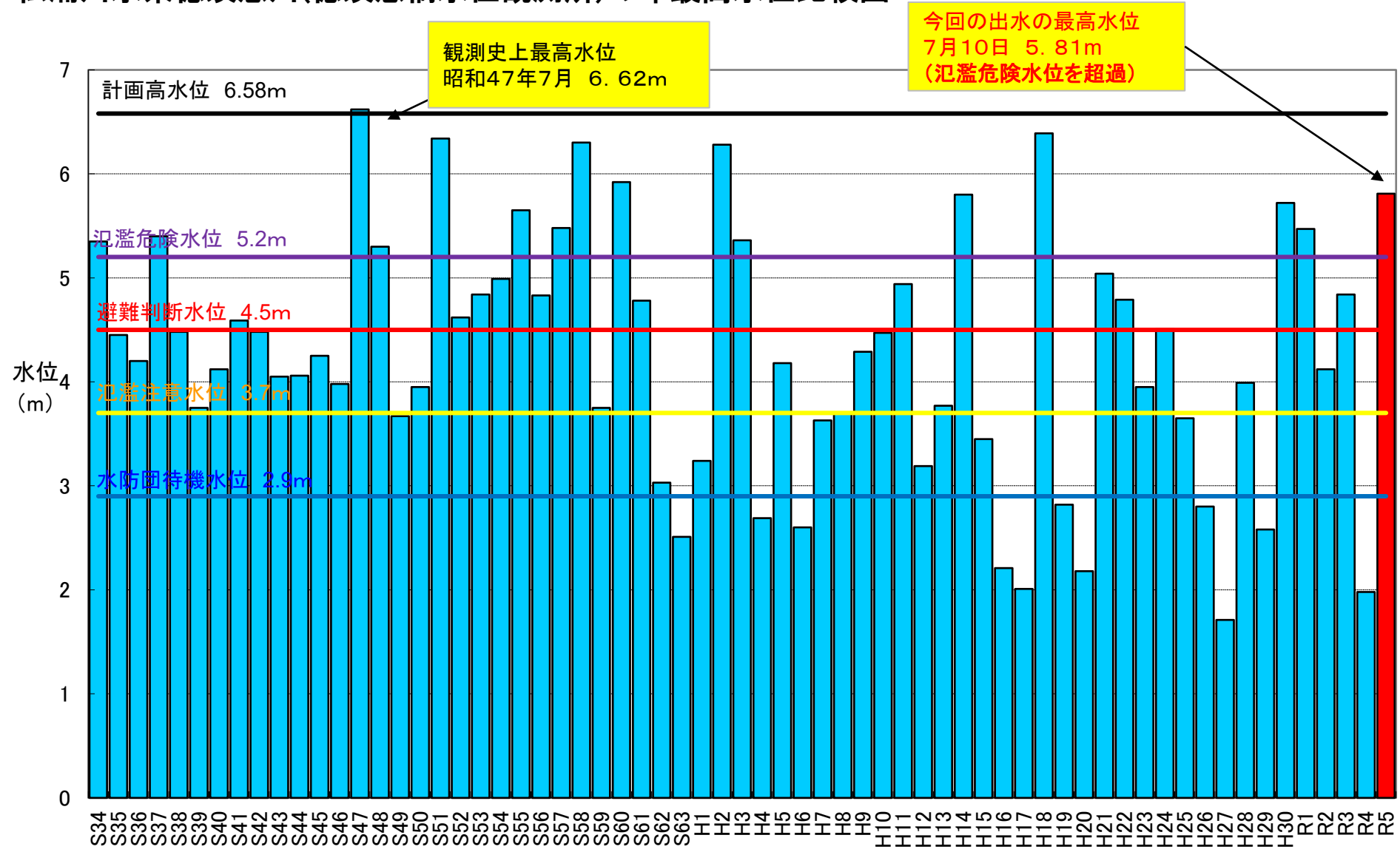
※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります
 ※グラフの時間雨量は、正時の間に降った雨量を便宜的に当該時間に表示したものです

6. 水位の概要 (徳須恵橋水位観測所: 松浦川水系徳須恵川) 武雄河川事務所



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります
 ※グラフの時間雨量は、正時の間に降った雨量を便宜的に当該時間に表示したものです

松浦川水系徳須恵川(徳須恵橋水位観測所)の年最高水位比較図

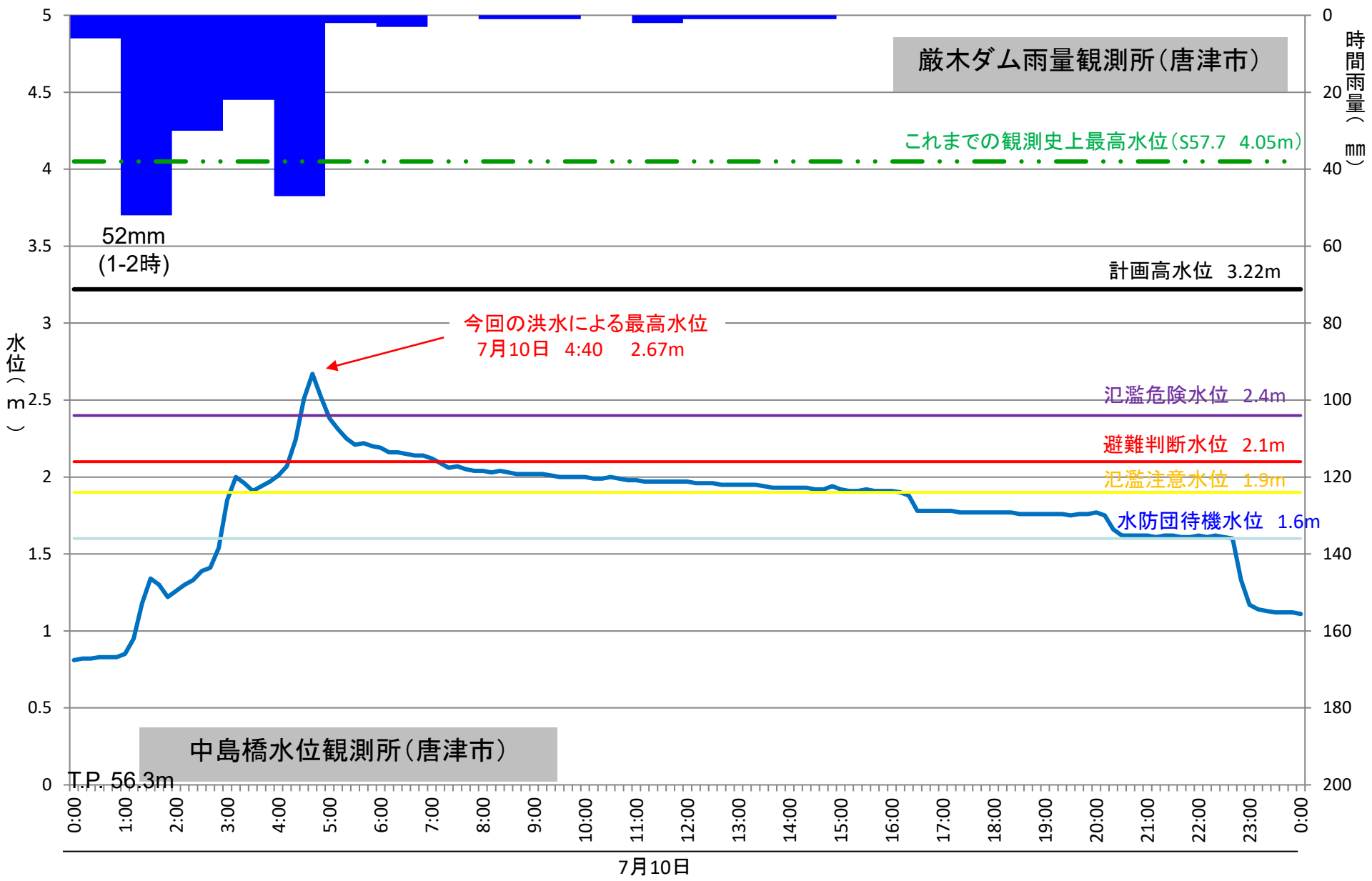


※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります



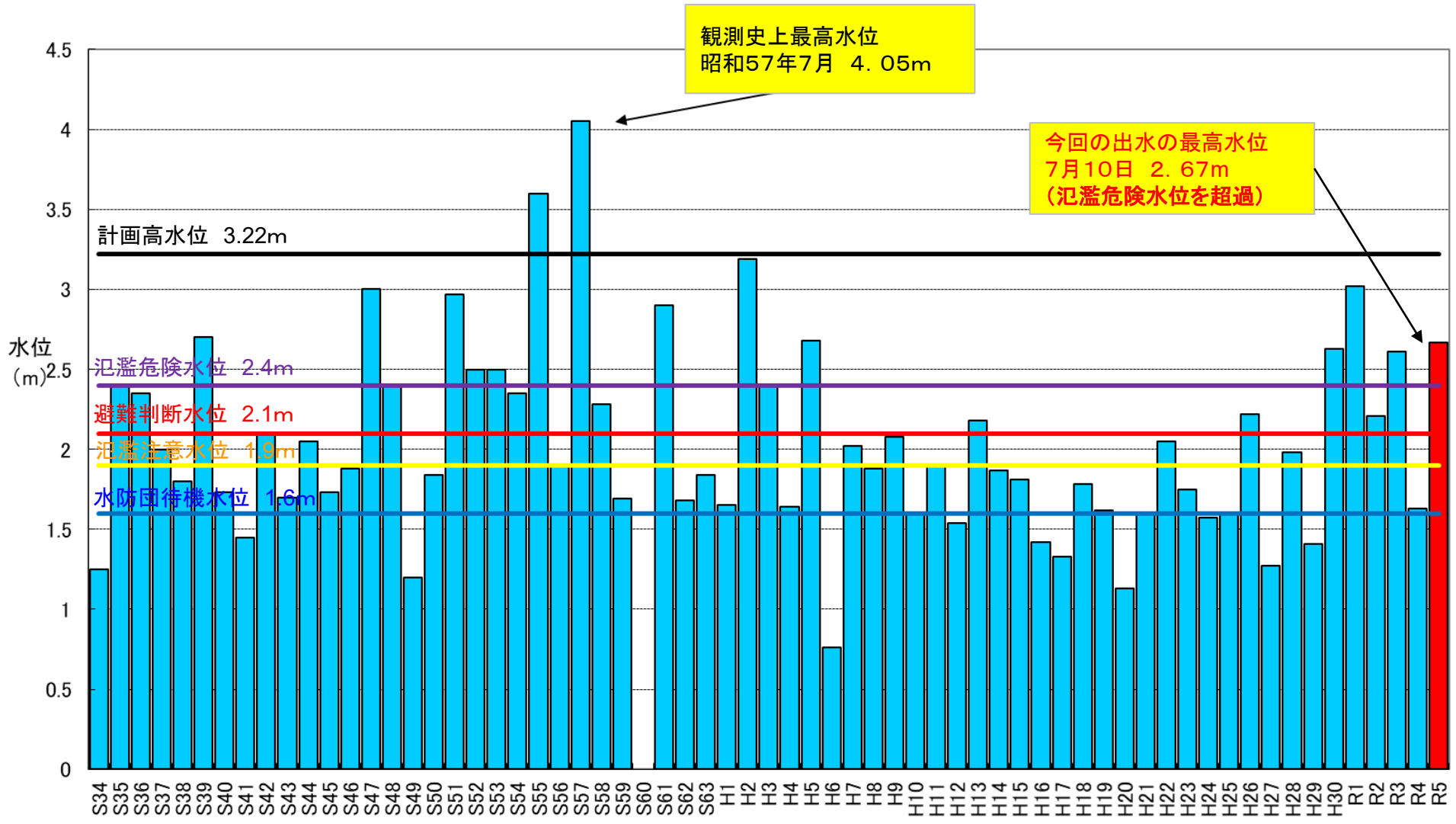
松浦川水系徳須恵川（国管理） 11k800付近（伊万里市南波多町）
（7月10日午前6時頃）

6. 水位の概要 (中島橋水位観測所：松浦川水系巖木川)



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります
 ※グラフの時間雨量は、正時の間に降った雨量を便宜的に当該時間に表示したものです

松浦川水系巖木川(中島橋水位観測所)の年最高水位比較図

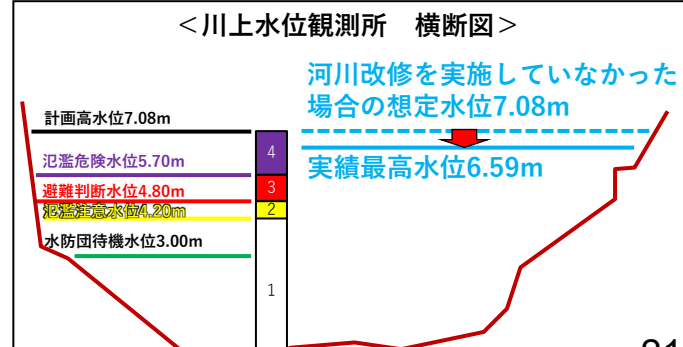
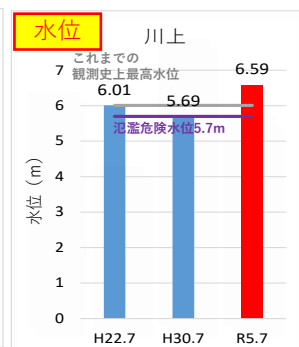
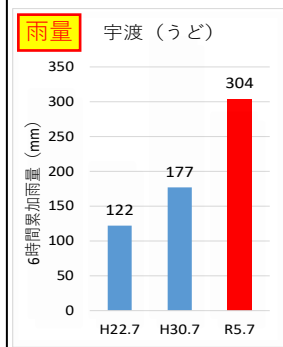


※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります

7. 嘉瀬川における 河川改修事業の効果

7. 嘉瀬川における河川改修事業の効果

- 令和5年7月10日、嘉瀬川では梅雨前線に伴う豪雨により、嘉瀬川ダム上流に位置する宇都雨量観測所の6時間累加雨量は300mmを上回り、川上水位観測所(佐賀市)の水位は氾濫危険水位を大きく超過し、昭和48年から観測史上最高となる6.59m(10日5:30)を記録。
- 嘉瀬川では、佐賀市尼寺(にいじ)地区において、防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策及び5か年加速化対策として、河道掘削及び樹木伐採等を実施。
- 河道掘削等を実施しなかった場合、川上水位観測所において、計画高水位7.08mに到達していたと想定され、当該対策により約0.5mの水位低減があったと推定される。



本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

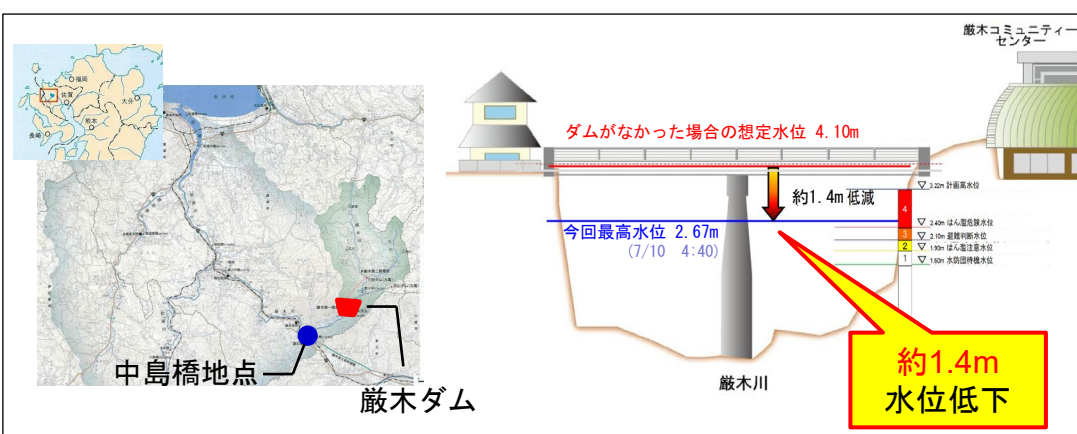
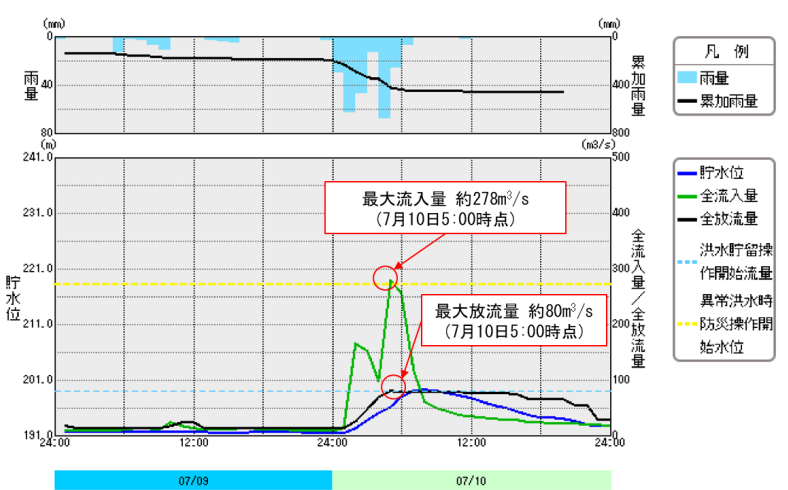
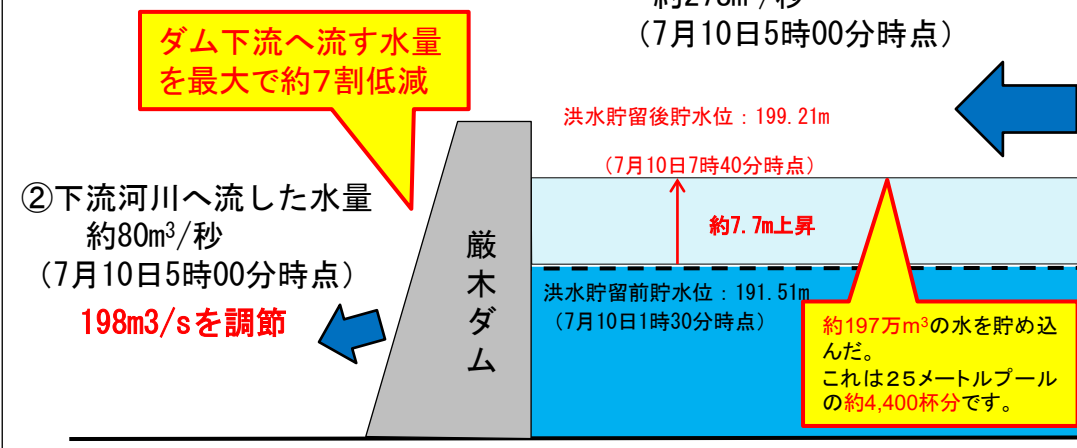
8. 牛津川における 河川改修事業の効果

9. 巖木ダムの 洪水調節による効果

- 7月梅雨前線に伴う豪雨により、厳木ダム上流域において、7日～10日までの総雨量は461mmを観測しました。
- ピーク流入量は約278m³/sを記録し、S63年3月管理開始以降で平成18年9月出水に次ぐ、2番目に大きな洪水でした。
- 厳木ダムでは、10日1時40分より、ダムへ流れ込む水量の一部を貯める「洪水調節」を行いました。
- 厳木ダムが無かった場合の中島水位観測所の水位は、氾濫危険水位(2.4m)を大きく超過し、4.1mに達していたと想定され、ダムの洪水調節によって約1.4m水位を低下させたと推定されます。



◆ 厳木ダムの状況



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります